

(2) 消防施設

再編方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 消防救急活動に支障をきたさない範囲で配置の見直しを行い、消防署・出張所数を削減する。 ◆ 津波浸水へ対応するため、津波の影響の少ない場所への移転や堅牢な建物への建替えなどの整備を行う。
------	---

再編内容	<p>短期 (H26～H31 対応分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉消防署の本部機能を大船消防署へ移転する。(平成 27 年 4 月) ・ 台出張所は、跨線橋の一部供用開始に伴い廃止する。(平成 27 年 3 月) (ただし、併設している第 5 分団は現状維持。) ・ 腰越出張所の施設規模を縮小し、津波浸水に対応した建物に建替える。(平成 28 年度) <p>中期 (H32～H37 対応分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防救急活動に支障をきたさない配置の検討を踏まえた上で、大船消防署の設備更新の時期に合わせ、大船消防署・消防本部と深沢出張所を統合し、深沢地域整備事業用地に移転する。 <p>長期 (H38～H65 対応分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉消防署の建替え時期に合わせ、消防活動に支障をきたさない配置等の検討を踏まえた上で、統合が可能な適地を選定し浄明寺出張所と統合する。
------	--

再編によるコストの削減効果等	<p>図表 消防施設の規模の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">現状</th> <th>短期</th> <th>中期</th> <th>長期</th> </tr> <tr> <th>H31年度末時点</th> <th>H37年度末時点</th> <th>H65年度末時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>施設面積</td> <td>8,202㎡</td> <td>7,871㎡</td> <td>7,736㎡</td> <td>7,000㎡程度</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td></td> <td></td> <td>20%削減 ※深沢・大船</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>図表 消防施設のコスト (累計) (百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th>短期</th> <th>中期</th> <th>長期</th> </tr> <tr> <th>H26～H31 (6年間)</th> <th>H26～H37 (12年間)</th> <th>H26～H65 (40年間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>従来型コスト</td> <td>$A=a+b$</td> <td>12,535.1</td> <td>24,903.4</td> <td>85,376.8</td> </tr> <tr> <td>建設</td> <td>a</td> <td>162.4</td> <td>224.4</td> <td>3,268.5</td> </tr> <tr> <td>管理運営</td> <td>b</td> <td>12,372.7</td> <td>24,679.0</td> <td>82,108.3</td> </tr> <tr> <td>再編後のコスト</td> <td>$B=c+d+e$</td> <td>11,743.9</td> <td>23,348.4</td> <td>70,973.0</td> </tr> <tr> <td>建設</td> <td>c</td> <td>161.5</td> <td>801.9</td> <td>2,970.2</td> </tr> <tr> <td>管理運営</td> <td>d</td> <td>11,582.4</td> <td>22,574.7</td> <td>68,656.7</td> </tr> <tr> <td>借地料</td> <td>e</td> <td>0.0</td> <td>▲ 28.2</td> <td>▲ 653.9</td> </tr> <tr> <td>コスト削減効果</td> <td>$C=A-B$</td> <td>791.2</td> <td>1,555.0</td> <td>14,403.7</td> </tr> <tr> <td>削減率</td> <td>C/A</td> <td>6.3%</td> <td>6.2%</td> <td>16.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※大船消防署及び深沢出張所の統合により当該消防署及び出張所の人員が20%削減されると仮定。 ※借地料収入は建設及び管理運営に係るコストに対してマイナスとなるため、数値に▲をつけて表記している。</p>		現状	短期	中期	長期	H31年度末時点	H37年度末時点	H65年度末時点	施設数	9	8	7	6	施設面積	8,202㎡	7,871㎡	7,736㎡	7,000㎡程度	人員			20%削減 ※深沢・大船				短期	中期	長期	H26～H31 (6年間)	H26～H37 (12年間)	H26～H65 (40年間)	従来型コスト	$A=a+b$	12,535.1	24,903.4	85,376.8	建設	a	162.4	224.4	3,268.5	管理運営	b	12,372.7	24,679.0	82,108.3	再編後のコスト	$B=c+d+e$	11,743.9	23,348.4	70,973.0	建設	c	161.5	801.9	2,970.2	管理運営	d	11,582.4	22,574.7	68,656.7	借地料	e	0.0	▲ 28.2	▲ 653.9	コスト削減効果	$C=A-B$	791.2	1,555.0	14,403.7	削減率	C/A	6.3%	6.2%	16.9%
	現状			短期	中期	長期																																																																							
		H31年度末時点	H37年度末時点	H65年度末時点																																																																									
施設数	9	8	7	6																																																																									
施設面積	8,202㎡	7,871㎡	7,736㎡	7,000㎡程度																																																																									
人員			20%削減 ※深沢・大船																																																																										
		短期	中期	長期																																																																									
		H26～H31 (6年間)	H26～H37 (12年間)	H26～H65 (40年間)																																																																									
従来型コスト	$A=a+b$	12,535.1	24,903.4	85,376.8																																																																									
建設	a	162.4	224.4	3,268.5																																																																									
管理運営	b	12,372.7	24,679.0	82,108.3																																																																									
再編後のコスト	$B=c+d+e$	11,743.9	23,348.4	70,973.0																																																																									
建設	c	161.5	801.9	2,970.2																																																																									
管理運営	d	11,582.4	22,574.7	68,656.7																																																																									
借地料	e	0.0	▲ 28.2	▲ 653.9																																																																									
コスト削減効果	$C=A-B$	791.2	1,555.0	14,403.7																																																																									
削減率	C/A	6.3%	6.2%	16.9%																																																																									

図表 消防施設の配置等



※1 近隣自治体と広域連携を実施する場合は、計画を見直す可能性がある。

※2 深沢地域整備事業用地に移転する計画の施設については、当該事業の進捗状況によりスケジュール、移転先についても変更となることがある。

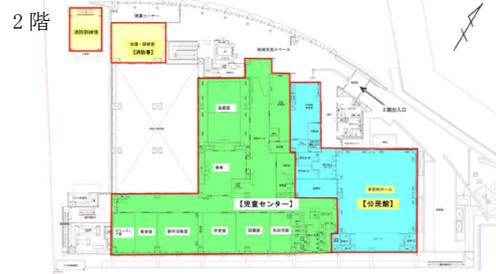
■ 参考事例：消防署の複合化の事例

さいたま市緑消防署は、消防署の建物の老朽化及び敷地の狭隘による問題等を解消し、他施設と複合化することで更新及び維持管理コストを削減するため、消防署、公民館、児童センターを複合施設として整備する工事が進められています。



施設概要

施設名	(仮)緑消防署等複合施設
建設地	埼玉県さいたま市緑区中尾
建物用途	消防署、公民館、児童厚生施設（児童センター）
敷地面積	4,229 m ²
延床面積	5,583.03 m ²
構造・規模	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）3階建
着工	平成26年5月（完成予定 平成27年11月）



出典：さいたま市ホームページ（仮称）緑消防署等複合施設建設工事の概要